

# ◇◆工芸美術（こうげいびじゅつ）◆◇

## 素材（そざい）と表現（ひょうげん）について

～小学校低学年用（しょうがっこうていがくねんよう）テキスト～

※材料（ざいりょう）と作りかたでわけられます。作品を見るときのさんこうにしてください。

### ●金工（きんこう）

金属（きんぞく）は、熱するととけて、ひえるとやわらかくなり、それをまたたくとかたくなります。

きんぞくのひょうめんを道具（どうぐ）でほったり、うったりしてかたちをつくることを、彫金（ちょうきん）といい、きんぞくの板（いた）を金槌（かなづち）でたたいてかたちをつくることを鍛金（たんきん）、きんぞくをとかして、型（かた）にながしてつくることを鑄金（ちゅうきん）といいます。

### ●漆（うるし）

うるしは、木からにじみでる液体（えきたい）です。

木、竹、麻布（あさぬの）などの上に何かいも漆をぬってかためます。その上に漆をせつちやくざいにして、金粉（きんぷん）で絵をかくことを蒔絵（まきえ）、ほった中に金粉をうめる沈金（ちんきん）、貝（かい）をはめこむ螺鈿（らでん）などがあります。

### ●陶磁（とうじ）

粘土（ねんど）を窯（かま）で焼いてつくります。

陶器（とうき）は、ねんどで形を作り、かんそうさせてから、かまで一度焼いて、その上に絵をかき、またかまで焼いてつくります。

磁器（じき）は、石をくだき、水をくわえて粘土にしてから形をつくり、かまで焼きます。

## ●染織（せんしょく）

染（そめ）は、布にのり・ロウなどで絵をかき、染料（せんりょう）で煮て作ります。手描き染（てがきそめ）・型染め（かたぞめ）・絞り染（しぼりそめ）などのやりかたがあります。

織（おり）は、タテ糸とヨコ糸をくみあわせて布を作ります。

刺繍（ししゅう）は、染めた糸に布をさしたり、ぬったりして作ります。

## ●革（かわ）

動物などの革から、毛と脂肪（しぼう）をとって、やわらかくした皮を使い、あんだり、うったり、ほったりして作ります。

## ●ガラス

ガラスのもとをとかして、やわらかいうちに形にします。

宙吹き（ちゅうぶき）、型吹き（かたぶき）、流し込み（ながしこみ）などがあります。

## ●七宝（しっぽう）

きんぞくの上にガラスのこなで絵をかき、窯（かま）で焼いて作ります。ガラスのこなは七宝絵具（しっぽうえのぐ）とも呼ばれます。

## ●人形（にんぎょう）

土・木・紙・桐塑（とうそ）・布などで形を作ります。貝のこなをぬったり、布をはるなど、たくさんのしあげかたがあります。

## ●木工（もっこう）

ヒノキ、ケヤキ、カツラ、チークなどの木をざいりょうにして作ります。木のかんじをのこして、うるしや染料（せんりょう）で色をつけます。

## ●竹（たけ）

竹をうすく、ほそく、わってつかい、それをあむ、組む、たばねるなどして作ります。  
うるしや染料で色をつけます。

## ●紙（かみ）

コウゾ・ミツマタなどの木をくだいた繊維（せんい）を水にとかして、うすく、ひらたくすいて作ります。

## ●その他

籐（とう）・アクリル・石・珊瑚（さんご）などと、くみあわせた作品もあります。